

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	校区まちづくり推進プロジェクト

## 【事業の内容について】

事業名	市民提案型まちづくり事業				担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	NPOやボランティアの持つ専門性、迅速性を生かして地域の課題解決を図ることを目的に、市内で活動する団体が独自の発想を持って提案する事業で、協働のまちづくりと団体の育成、充実につながるものについて補助する。				事業主体	糸島市		
					実施方法	補助		
事業内容	<p>【事業内容】</p> <p>市民提案型 市民活動団体等が地域課題を提示し、その課題を解決する事業企画を自ら提案し、糸島市と協働して行う事業</p> <p>行政テーマ提供型 糸島市が地域課題を提示し、その課題を解決する事業企画を市民活動団体等が提案し、糸島市と協働して行う事業</p> <p>【補助対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営利活動、政治活動または宗教活動を目的とせず、市内に事務所を有し活動するもの</li> <li>【補助金の額】</li> <li>・1事業50万円以内で予算の範囲内の団体に補助</li> </ul>				進捗状況・現状	平成22年度提案団体25団体 平成29年度提案団体6団体 年々提案団体が減少、内容の固定化が見受けられる。 現行制度では、団体からの自由提案のみで、関係課と団体が関わらずに事業が終了する機会が多い。		
事業期間	平成30年度～平成32年度(3年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	9,327	千円	(うち市予算化分)	9,327	予算科目	款	項	目
						2	1	7
昨年度の実施計画に計上した総事業費	3,609	千円		3,609	千円			
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
糸島市で活動するNPO・ボランティア等の市民	NPO・ボランティア団体等のスキルアップ・充実		活動指標	市民提案を実施した団体数(団体)	0	77	81	
			成果指標	市と市内で活動している市民団体で実施した協働事業数(事業)	0	113 (H29年度末)	120 (H32年度末)	

## 【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他				0		
	一般財源	3,109	3,109	3,109	9,327		
事業費(A)		3,109	3,109	3,109	9,327		
事業費内訳(主なもの)		補助金 審査委員謝礼	補助金 審査委員謝礼	補助金 審査委員謝礼			
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700	
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	35.9	
総コスト(A+B)		4,849	4,849	4,849	総コスト計	14,547	
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	いとしまシンボル普及事業				担当部課	企画部	秘書広報課		
事業目的	市のイメージキャラクター及びイメージソングを活用し、市のイメージアップやPRを行い、地域活性化につなげる。				事業主体	糸島市			
					実施方法	一部委託			
事業内容	・イメージキャラクターをイベントや施設などに派遣してPRを行うことで、市内の幼児～小学低学年及びその保護者を中心にファンを増やし、市内外の企業や団体のイラスト利用を促進することにより、一層の認知浸透を図る。 同時にHPやブログを運営し、web上でも「いとゴン」に常に触れることができる体制を維持する。 ・平成25年度に作成したイメージソングのコーラス・楽団用楽譜の市内小中学校や団体への利用促進を図る。またその一環で唄人羽による曲披露により認知拡大を図る。				進捗状況 ・ 現状	イメージキャラクターいとゴンについては、平成29年5月まで派遣業務を民間業者へ委託していたが、観光協会が着ぐるみの貸出しを行う業務へとシフトしたことにより、様々な催事へより柔軟に出演できることとなった。イメージソングは、市内全小中学校で給食時間等に流されるなど、児童・生徒の認知度は向上している。			
						事業期間	平成28年度～平成30年度(3年間)		会計種類
総事業費	5,626	千円	(うち市予算化分)	5,626	千円	予算科目	款	項	目
	5,626	千円	5,626	千円	7		1	2	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	5,626	千円	5,626	千円					
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
市内事業者 児童・生徒	地域経済の活性化、市民の郷土愛の醸成など		活動指標	いとゴンの派遣(回)	130	123	123		
				小中学校活用調査・依頼(回)	2	2	2		
			成果指標	いとゴンのイラスト申請(件)	101	108	150		
			小中学校活用率(%)	90	100	100			

## 【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源	587			587	
事業費(A)		587	0	0	587	
事業費内訳(主なもの)		委託料				
従事職員数(人)		0.2			平均人件費	8,700
人件費(B)		1,740	0	0	人件費割合(%)	74.8
総コスト(A+B)		2,327	0	0	総コスト計	2,327
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	福岡マラソン応援事業				担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	スポーツの振興と地域の活性化を図り、福岡・糸島地域一帯の魅力を高めることを目的に『福岡マラソン』を開催する。併せて、大会を盛り上げ、糸島市を積極的にPRするため、糸島市独自の事業を展開する。				事業主体	福岡マラソン糸島協力会		
					実施方法	補助		
事業内容	福岡市都市部をスタートし、糸島市でフィニッシュする市民参加型フルマラソンを開催。大会開催に併せ、糸島市独自にイベントやおもてなしに関する事業を実施する。 > 協力会事務局費 市内マラソン応援事業等の計画・運営を取り仕切る。 > 沿道応援事業 コース沿道のランナー応援や応援バス運行等。 > もてなし事業 フィニッシュ会場でランナーや応援者等に糸島産品等をPRする。				進捗状況・現状	福岡マラソン開催初年度(平成26年度)から実施 【沿道応援事業】 平成26年度:10事業 平成27年度:12事業 平成28年度:12事業 【もてなし事業】 平成26年度:30事業 平成27年度:38事業 平成28年度:37事業		
事業期間	平成29年度～平成31年度(3年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	30,000	千円	(うち市予算化分)	30,000	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	30,000	千円	30,000	千円	10	5	1	
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
市民	まちづくりへの参加		活動指標	沿道応援事業数(件/年) もてなし事業数(件/年)	0	沿道:12 もてなし:37	沿道:15 もてなし:40	
			成果指標	沿道応援やもてなし事業に参加した市民の数(人/年)	0	1,434	1,650	

## 【事業費について】

					(単位:千円)	
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他	1,400			1,400	
	一般財源	8,600	10,000		18,600	
事業費(A)		10,000	10,000	0	20,000	
事業費内訳(主なもの)		補助金	補助金			
従事職員数(人)		0.1	0.1		平均人件費	8,700
人件費(B)		870	870	0	人件費割合(%)	8.0
総コスト(A+B)		10,870	10,870	0	総コスト計	21,740
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
福岡都市圏地域共同事業補助金		その他	地域共同事業実施要綱			

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	地域主体のまちづくりのための体制を確立する
重点プロジェクト	校区まちづくり推進プロジェクト

## 【事業の内容について】

事業名	行政区等公民館及び児童遊園地施設等補助事業				担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	行政区等が実施する公民館等の整備等に対し、補助金を交付することで、地域拠点の整備と地域コミュニティ活動の活性化を図る。				事業主体	各行政区等		
					実施方法	補助		
事業内容	行政区等が設置し、管理する公民館の建設等及び児童遊園地の施設整備並びに当該用地購入に対し、補助金を交付。 ・行政区公民館 事業費の25%補助(限度額500万円) ・隣組公民館 事業費の20%補助(限度額400万円) ・児童遊園地 事業費の25%補助(限度額 45万円) 補助対象事業費100万円以上				進捗状況 ・ 現状	[事業実績]		
						H22 (7件)	4,274千円	
事業期間	-				会計種類	一般会計		
事業費 (平成30-32年度)	27,600	千円	(うち市予算化分)	27,600	予算科目	款	項	目
	30,919	千円		30,919		2	1	16
昨年度の実施計画に計上した3年間事業費	30,919	千円		30,919				
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値	
市民	地域コミュニティの充実	活動指標	行政区等公民館建設・改修件数(件)		0	56	163	
		成果指標	行政区等公民館利用者の満足度(%)		0	64.9 (H28年度末)	71.4 (H32年度末)	

## 【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他				0		
	一般財源	8,000	9,800	9,800	27,600		
事業費(A)		8,000	9,800	9,800	27,600		
事業費内訳(主なもの)		補助金	補助金	補助金			
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700	
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	15.9	
総コスト(A+B)		9,740	11,540	11,540	総コスト計	32,820	
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	地域主体のまちづくりのための体制を確立する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	広域連携プロジェクト				担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	県内に設定された15の広域地域振興圏ごとに、県と市による推進組織を設置し、それぞれの地域が持つ魅力を生かした地域の活性化を図る。				事業主体	糸島地域広域連携プロジェクト推進会議			
					実施方法	負担金			
事業内容	県と市と連携し、下記の事業を実施 農業プロジェクト ・生徒とともに学ぶ「糸農講座」の実施 糸島の未来の人材を創るプロジェクト ・糸島市民が誰もが誇れる「いとしま学」事業の実施 ・未来の糸島を創る「未来のいとしま学」事業の実施 糸島魅力をいかした観光づくりプロジェクト ・糸島の魅力を発信する体験型観光の実施				進捗状況・現状	H27～H29の3か年で以下の事業を実施 ・九大生による学習応援「九大寺子屋」 ・糸島市民が誰もが誇れる「いとしま学」 ・未来の糸島を創る「未来のいとしま学」 ・糸島魅力をいかした「観光づくり」 H30～H31の3か年で先の事業に新たに取り組む。			
事業期間	平成30年度～平成32年度(3年間)				会計種類	一般会計			
総事業費	30,276	千円	(うち市予算化分) 15,138	千円	予算科目	款	項	目	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	28,992	千円	14,224	千円		2	1	7	
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値		
市民	糸島市が持つ魅力の広域的な発信	活動指標	広域連携プロジェクトとして実施する事業数(事業)			0	0	28	
		成果指標	広域連携プロジェクト事業への参加数(人)			0	0	950	

## 【事業費について】

					(単位:千円)		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金	(5,046)	(5,046)	(5,046)	(15,138)		
	地方債				0		
	その他				0		
	一般財源	5,046	5,046	5,046	15,138		
事業費(A)		(5,046) 5,046	(5,046) 5,046	(5,046) 5,046	(15,138) 15,138		
事業費内訳(主なもの)		負担金	負担金	負担金			
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700	
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	25.6	
総コスト(A+B)		6,786	6,786	6,786	総コスト計	20,358	
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
糸島地域広域連携プロジェクト推進会議負担金		県支出金				50%	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	いとしま共創プラン(小学校区を核とした地域主体のまちづくり)を推進する
重点プロジェクト	校区まちづくり推進プロジェクト

## 【事業の内容について】

事業名	校区まちづくり推進事業				担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	地域にある課題の解決や地域資源を活用したまちづくりを行うため、小学校区を単位とする地域コミュニティの振興を図る。				事業主体	各校区運営委員会等		
					実施方法	補助		
事業内容	長期総合計画の重点プロジェクトである校区まちづくり事業を推進するために、各校区で計画した事業で、事業の継続性・発展性があるもの、校区の課題解決につながるもの、魅力ある資源や人材を活用するものについて人的・財政的支援を行う。 校区まちづくり計画の策定(改訂) ・10年目を迎えた校区まちづくり計画の改訂を実施 ・校区まちづくり支援員が計画策定を支援 15校区への財政的支援 ・校区まちづくり推進事業補助 ・1校区100万円(補助率90%)				進捗状況・現状	・H22～25校区まちづくり事業開始 ・校区計画策定、施設整備、実践活動を実施 ・平成26年に実施要領改正(校区単位の実践活動へ) ・平成26年度～28年度までに164事業40,606千円を交付		
事業期間	平成30年度(1年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	15,300	千円	(うち市予算化分) 15,300	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	236,152	千円	236,152	千円		2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値	
市民	地域コミュニティの強化	活動指標	地域団体等が行う実施事業数(事業)		0	387	587	
		成果指標	地域の行事へ参加している割合(%)		0	29.8 (H28年度末)	50 (H32年度末)	

## 【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源	15,300	0	0	15,300	
事業費(A)		15,300	0	0	15,300	
事業費内訳(主なもの)		補助金				
従事職員数(人)		0.3			平均人件費	8,700
人件費(B)		2,610	0	0	人件費割合(%)	14.6
総コスト(A+B)		17,910	0	0	総コスト計	17,910
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	生涯学習環境を整備し、学びを支援する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	市立公民館設備改修事業				担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	前原及び長系公民館の空調設備は設置から20年以上経過しており、老朽化が進んでいる。また、今後故障した場合、交換部品の調達が困難となることが想定されることから、整備を図る。				事業主体	糸島市		
					実施方法	直営		
事業内容	【雷山公民館】空調機器設備改修工事 【前原公民館】空調機器設備改修工事 【長系公民館】空調機器設備改修工事				進捗状況・現状	前原公民館の空調設備は平成27年度に一部故障が発生したため、改修工事を実施したが、未改修の空調機器も老朽化により、同様の故障発生リスクが高く、現在も一部機能していない機器が存在する。 長系公民館の空調設備は、1階系統の室外機の故障が発生しており、空調機器の老朽化が進んでいる。公民館は避難所としての機能も求められることから、緊急度が高い事業である。		
事業期間	平成29年度～平成31年度(3年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	39,003	千円	(うち市予算化分) 39,003	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	22,696	千円	22,696	千円		10	4	3
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
施設利用者	快適な施設利用		活動指標	空調改修を実施する公民館数(館)	2	2	0	
			成果指標	空調改修を実施した公民館数(館)	0	1	3	

## 【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計		
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	地方債				0		
	その他				0		
	一般財源	12,096	11,385		23,481		
事業費(A)		12,096	11,385	0	23,481		
事業費内訳(主なもの)		空調設備改修工事費	空調設備改修工事費				
従事職員数(人)		0.2	0.2		平均人件費	8,700	
人件費(B)		1,740	1,740	0	人件費割合(%)	12.9	
総コスト(A+B)		13,836	13,125	0	総コスト計	26,961	
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	移住支援プロジェクト

## 【事業の内容について】

事業名	スポーツチャレンジ事業(ヤングシニア生きいきプロジェクト)			担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	スポーツを始めるきっかけづくり及びスポーツ習慣や健康志向の定着を図る。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックの日本開催をひかえ、全国的にスポーツ振興の機運が高まっている。 本市においてもこれらを契機に、スポーツ推進委員と連携等し、スポーツ振興を図る。 一流アスリートによるスポーツ教室(講演や指導)の実施 スポーツ、ニューススポーツ指導等の拡充 スポーツを始めるきっかけとなる体験教室等の実施			進捗状況 ・ 現状	現在、何らかの運動を行っている市民は3人に1人の割合。 何らかの運動を行いたいとの意識はあるが、きっかけがない状況にある。 【平成29年度事業(予定含む)】 ・一流アスリートによるスポーツ教室;1回 ・ニューススポーツ指導等;延37回 ・体験教室;延12回		
事業期間	平成29年度～平成32年度(4年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	10,820	千円	(うち市予算化分) 10,820	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	8,115	千円	8,115	千円	10	5	1
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
市民	スポーツをしたい健康になりたい	活動指標	スポーツ事業実施回数(回/年)	1	8	15	
		成果指標	日頃からスポーツに親しんでいる人の割合(%)	25	25	33.3	

## 【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
財源内訳	国庫支出金	1,302	1,302	1,302	3,906
	県支出金				0
	地方債				0
	その他				0
	一般財源	1,303	1,303	1,303	3,909
事業費(A)		2,605	2,605	2,605	7,815
事業費内訳(主なもの)		報酬、報償費 旅費、需用費	報酬、報償費 旅費、需用費	報酬、報償費 旅費、需用費	
従事職員数(人)		0.5	0.5	0.5	平均人件費 8,700
人件費(B)		4,350	4,350	4,350	人件費割合(%) 62.5
総コスト(A+B)		6,955	6,955	6,955	総コスト計 20,865
特定財源の名称 (使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
地方創生推進交付金	国庫支出金	地域再生法			50%

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5)文化・芸術の創造
施策	文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	国宝、重要文化財保存事業(発掘調査)			担当部課	教育部	文化課	
事業目的	個人住宅の建設のための発掘調査を、建築主に費用負担を求めることなく実施する。また、伊都国の拠点集落である三雲・井原遺跡をはじめとする市内の重要遺跡を保護し、史跡指定、整備活用を行うため、発掘調査を実施し、その成果を基に調査研究を行い遺跡の実態を解明する。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	重機により遺跡が存在する深さまで表土を除去し、作業員を投入し、人力により遺構検出、掘り下げを行う。その後、遺跡の測量、実測、写真撮影を行い、出土品を取り上げ、埋め戻す。取り上げた出土品は復元室において、洗浄、ナンバーリング、接合復元作業を行い、必要に応じて実測、写真撮影を行う。			進捗状況・現状	H23;三雲南小路・屋敷地区・志登松本遺跡発掘調査、三雲地区測量基準点設置 H24;三雲南小路地区発掘調査 H25;三雲南小路地区・史跡怡土城跡発掘調査 H26;三雲番上地区発掘調査 H27;三雲番上地区発掘調査 H28;三雲番上遺跡発掘調査		
事業期間	昭和54年度～平成41年度(51年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	801,496	千円	(うち市予算化分) 801,496	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	801,496	千円	801,496	千円	10	4	5
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
新規転入市民、文化財研究者、歴史愛好者	迅速な発掘調査の実施と重要遺跡の実態の解明	活動指標	発掘調査の需要に対する実施率(%)	100	100	100	
		成果指標	自己居住用個人住宅建設に伴う発掘調査費用の自己負担率(%)	0	0	0	

## 【事業費について】

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	4,000	4,000	4,000	12,000	
	県支出金	300	300	300	900	
	地方債				0	
	その他	3,700			3,700	
	一般財源		3,700	3,700	7,400	
事業費(A)		8,000	8,000	8,000	24,000	
事業費内訳(主なもの)		賃金 委託料 使用料および賃借料	賃金 委託料 使用料および賃借料	賃金 委託料 使用料および賃借料		
従事職員数(人)		0.5	0.5	0.5	平均人件費	8,700
人件費(B)		4,350	4,350	4,350	人件費割合(%)	35.2
総コスト(A+B)		12,350	12,350	12,350	総コスト計	37,050
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
国宝重要文化財等保存整備費補助金	国庫支出金	文化財保存事業費関係補助金交付要綱			50%	
福岡県文化財保護事業補助金	県支出金	福岡県文化財保護事業補助金交付要綱			15%(限度額300千円)	
糸島市ふるさと応援基金	その他	糸島市ふるさと応援寄附条例				